

DAW Control

コンテンツ

はじめに

- 2つのタイプの DAW Control

- DAW Control 使用時のメーター表示

- DAW Control の無効化

Logic Pro の Direct DAW Control

- VST3 DAW Control (Studio One、Live など) との違い

- 高度なインストール

- トラブルシューティング

Logic Pro 用 DAW Control の機能

- トラックコントロール

- リミテッドトラック: プラグインなしでのトラックコントロール

- フェーダーセンド

- 最大 200トラック

Cubase/Nuendo 向け DAW ダイレクトコントロール

- インストール

- リミテッドトラック: プラグインなしでのトラックコントロール

Pro Tools の DAW Direct コントロール

Bitwig Studio の DAW ダイレクトコントロール

- インストール

関連するマニュアル

https://www.softube.com/user-manuals/Console_1_Mixing_System_Mk_III

<https://www.softube.com/user-manuals/flow-studio>

はじめに

このマニュアルでは、Softube ハードウェア製品を使用して DAW の機能をコントロールする方法について説明します。

特定の製品について言及する場合を除き、すべてのハードウェア製品で同様の機能をご利用いただけます。

ほとんどの DAW は DAW Control に対応しており、DAW のミキサーのトラックパラメーター：DAW のボリューム、パン、ソロ、ミュート、センドレベル（センドが利用可能な場合のみ）をコントロールできます。

DAW またはハードウェアのいずれかでトラックを選択すると、もう一方のトラック選択も同時に反映されます。

現在、主要な DAW はすべて Softube の DAW Control に対応しています。Pro Tools では、DAW Control と Pro Tools HUI を組み合わせて使用することで、Console 1 フェーダーから DAW ボリュームとセンドをコントロールできます。

DAW Control の一部の機能は、Softube ハードウェア対応プラグイン（Console 1 や Flow Mixing Suite など）をトラックに挿入した場合にのみ使用できます。

これらのプラグインは、以下では単に「プラグイン」と呼びます。

お使いの DAW が VST3 に対応している場合は、必ず VST3 バージョンのプラグインを使用してください

2つのタイプの DAW Control

DAW Control には 2 つの種類があります。「VST3 を使用した DAW Control」と「Direct DAW Control」です。VST を使用する DAW Control では、プラグインがインストールされているすべてのトラックをコントロールできます。一方、「Direct DAW Control」では、すべてのトラックにアクセスできます。通常は DAW との直接通信によって行われます。

Direct DAW Control の機能は、DAW によって異なる場合があります。

DAW	VST3 DAW Control	Direct DAW Control	注意
Cubase		YES	コンソール1チャンネル Mk I/IIはサポートされていません。
Nuendo		YES	コンソール1チャンネル Mk I/IIはサポートされていません。
Logic Pro		YES	
Pro Tools		スクリプト SDKとHUI	ボリューム、パン、センドは HUIでコントロールされます。
Presonus Studio One	✓		
Ableton Live	✓		
Bitwig Studio		YES	
FL Studio	✓		
LUNA	✓		
Harrison MixBus	✓		
Reaper	✓		
Samplitude Pro	✓		

最新の DAW 対応リストについては、「[コンソール 1 との DAW 互換性](#)」をご覧ください。

DAW Control 使用時のメーター表示

DAW Control 使用時、出力メーターには DAW のフェーダーとパンが適用された後のレベルが表示されます。

このレベルは概算値であり、プラグインと DAW のフェーダーの間に処理がある場合、メーター表示が不正確になる可能性があります。

ただし、Cubase/Nuendo および Logic Pro では、オンスクリーンディスプレイの出力メーターは DAW から直接報告されるため、概算値ではありません。

DAW のボリュームとパンの影響を受けずに Console 1 の出力レベルを確認したい場合は、Shift キーを押しながらオンスクリーンディスプレイの出力メーターに Console 1 プラグインの出力レベルが表示されます。

DAW Control の無効化

Settings メニューから DAW Control を無効にすることができます。DAW Control を無効にした場合、トラック番号、選択範囲、色はオンのままにしておくことができます。

Logic Pro の Direct DAW Control

Logic Pro 10.7 以降は、Apple のコントロールサーフェスを介した DAW Control をサポートしていません。

これにより、プラグインを含むトラックとプラグインを含まないトラックの両方で、トラックのボリューム、パン、センド、ソロ、ミュートにアクセスできます。

VST3 DAW Control (Studio One、Live など) との違い

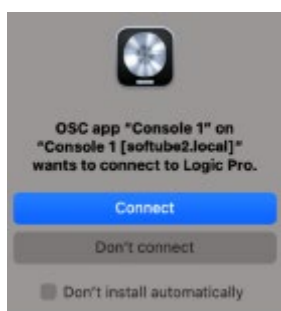
他の DAW (VST3 DAW Control インターフェースを使用) の DAW Control に慣れているユーザーは、いくつかの違いに気づくでしょう。

トラックレイアウト: コンソール 1 のトラック番号は、Logic のミキサーのトラックの順番で常に従います。ミキサーに表示されているトラックのみがハードウェアからアクセスできます。

リミテッドトラックス (トラック数の制限): プラグインが適用されていないトラックもハードウェアから表示およびコントロールできますが、プラグインのオーディオ処理は適用されません。

インストール: Logic Pro 用 DAW Control のインストールは自動で行われ、一度だけ実行すれば済みます。ただし、コンピューターのネットワーク設定が変更された場合など、状況によっては再度インストールが必要になる場合があります。

1. プラグインの最新バージョンがインストールされていること、および「Softube On-Screen Display」アプリケーションが実行されていることを確認してください。
2. Logic を起動します。
3. Logic Pro は、コンソール 1 に対して次のようなメッセージを表示します。「OSC アプリ「コンソール 1」が「コンソール 1 [コンピューター名]」上で Logic Pro への接続を要求しています。」
4. ネットワーク上に Softube ハードウェアを実行しているコンピューターが複数ある場合は、メッセージが自分のコンピューターを指していることを確認し、「OK」をクリックします。



コンソール 1 は Logic Pro への接続許可を求めます。この例では、自分のコンピューター (「softube2」) にのみ接続するようにしてください。

高度なインストール

ネットワーク上に Softube ハードウェアを搭載したコンピューターが複数ある場合、Logic は、Softube On-Screen Display アプリケーションが起動しているすべてのコンピューターで製品に接

続けるかどうかを尋ねます。

現在使用しているコンピューター以外では、OK をクリックしないでください。

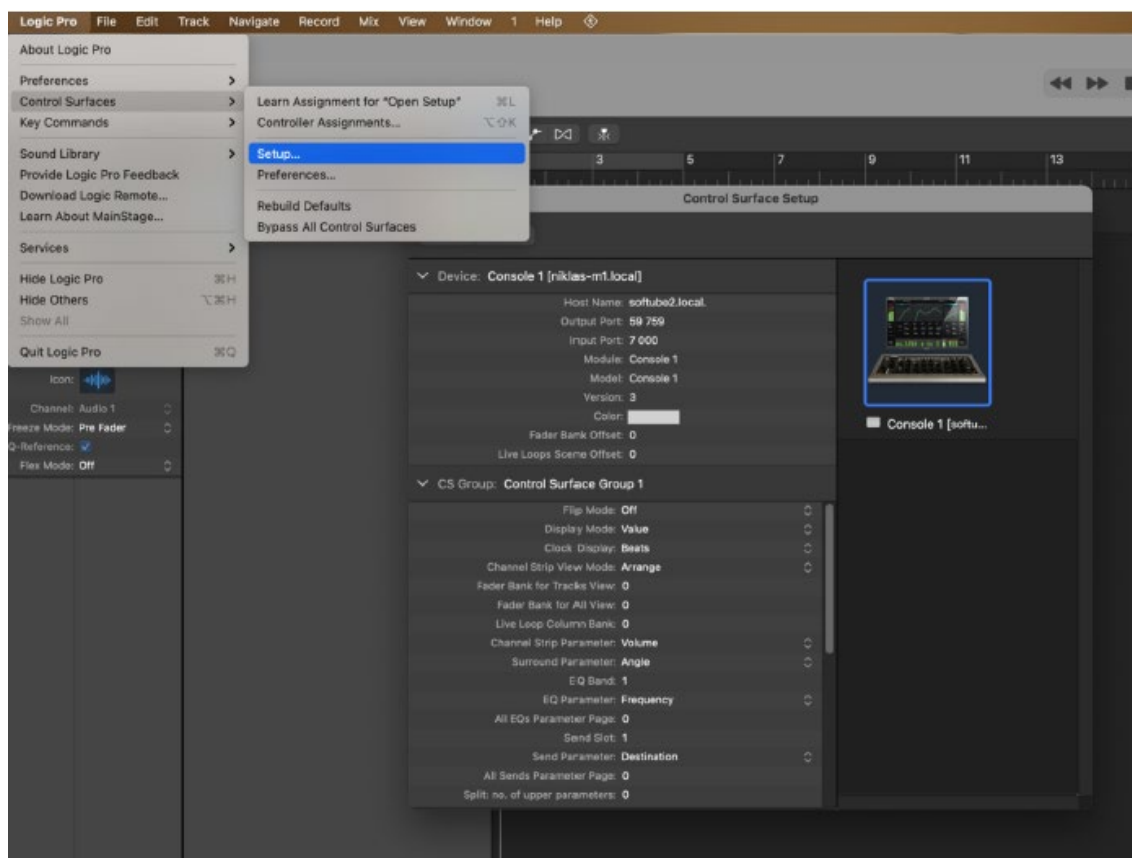
DAW Control は、ハードウェアが接続されているコンピューターでのみ動作します。

誤ってネットワーク上に別のコンピューターを追加してしまった場合は、最初のメッセージが表示された後、Logic Pro から製品を削除することで簡単に修正できます。メニューの Logic Pro > コントロールサーフェス > 設定…を選択してください。

例えば、Console 1 の場合、Console 1 のインスタンスが 1 つだけ表示されるはずですが、

コントロールサーフェスの設定には、Logic で高度な機能を有効にする必要があります。

Logic Pro > 環境設定 > 詳細…を選択し、「すべての機能を有効にする」を選択してください。



コントロールサーフェスの設定画面で、Console 1 のサポートを削除または追加できます。通常は必要ありません。

トラブルシューティング

コントロールサーフェスの設定で「自動インストール」をオンにしてください。

1. Logic Pro → コントロールサーフェス → 設定… に移動します。
2. 「新規」をクリックし、「自動インストール」がチェックされていることを確認します。

3. Softube On-Screen Display を終了し、再度起動します。

Softube ハードウェアはローカルネットワークとアクセシビリティへのアクセスが必要です。

macOS の設定で、「プライバシーとセキュリティ」に移動します。

・「ローカルネットワーク」を選択し、「Softube On-Screen Display」がリストに表示され、ローカルネットワークの使用が許可されていることを確認します。

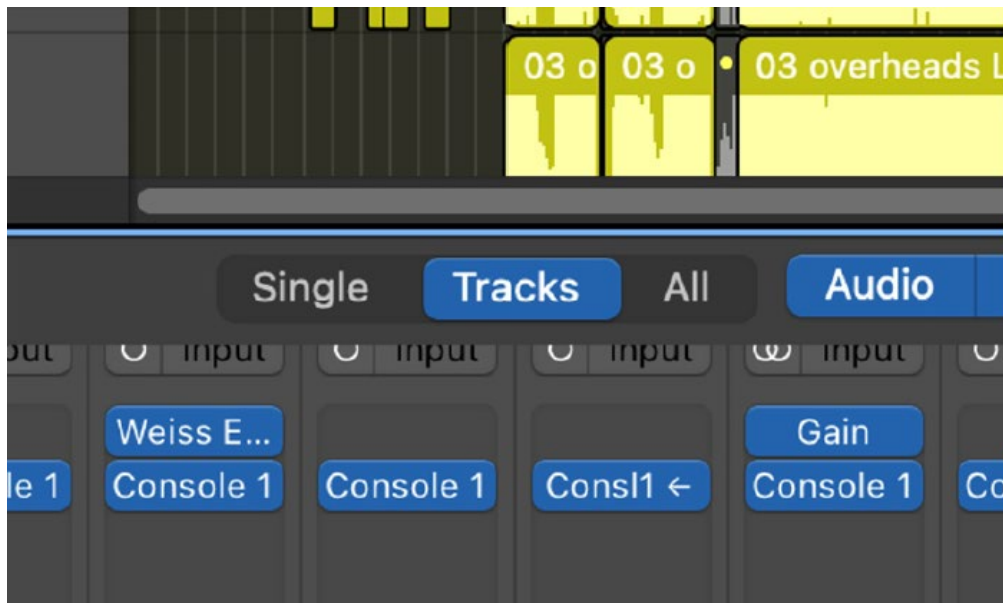
・「アクセシビリティ」を選択し、「Softube On-Screen Display」がリストに表示され、アクセシビリティ機能の使用が許可されていることを確認します。

Logic Pro 用 DAW Control の機能

トラックコントロール

Softube ハードウェアは、Logic のミキサーに現在表示されているトラックのみをコントロールできません。

Logic ミキサーの現在の設定(例:「シングル」、「トラック」、「すべて」)に応じて、表示されるトラックのセットが異なります。さらに、Softube ハードウェアは、閉じたトラックスタック内のサブトラックなど、Logic のミキサーに現在表示されていないトラックを非表示にします。



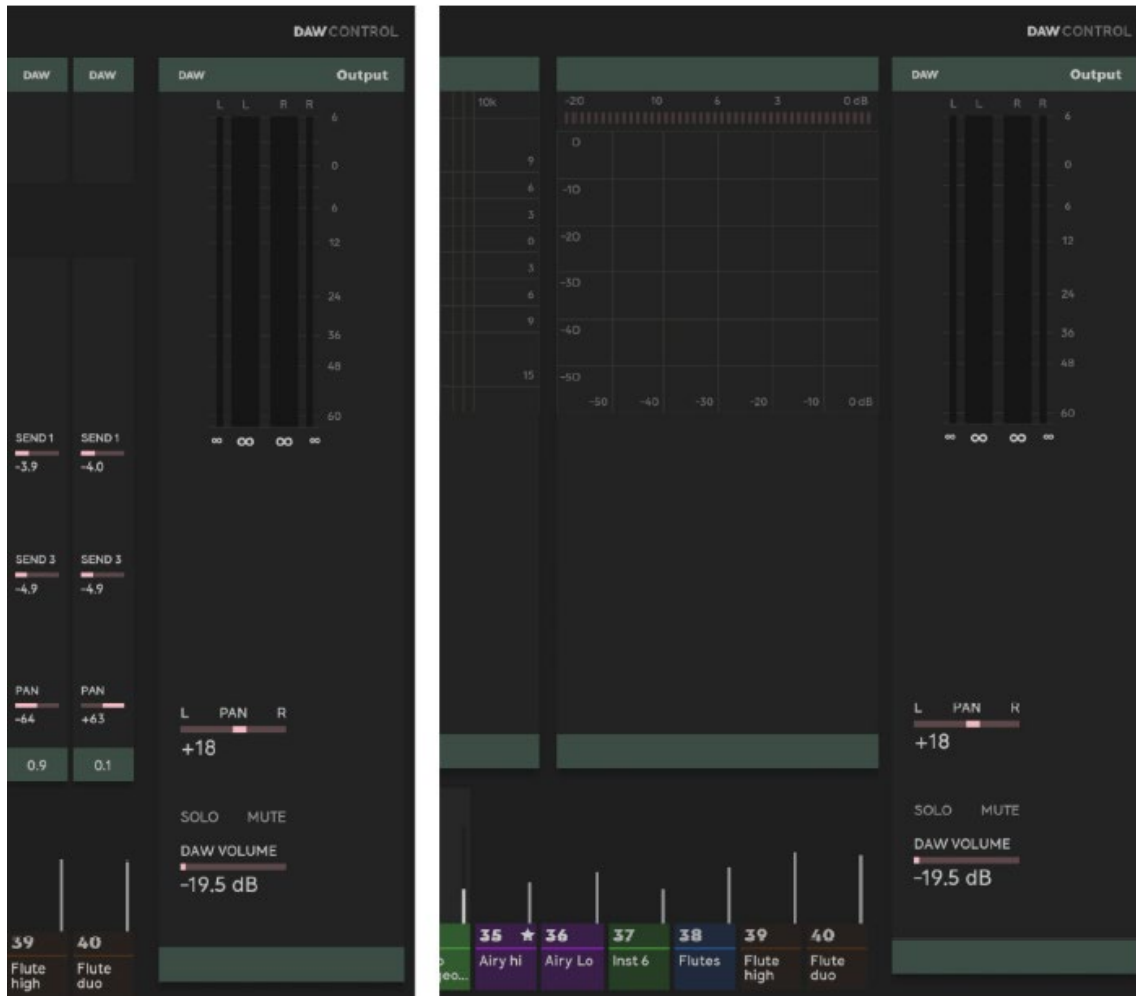
コンソール 1 でコントロールできるのは、ミキサーに表示されているトラックのみです。「シングル」、「トラック」、「すべて」を切り替えることで、表示するトラックを変更できます。

トラック表示が Logic と同期していない場合は、ミキサーで「シングル」、「トラック」、「すべて」を切り替えることで同期を回復できます。

リミテッドトラック：プラグインなしでのトラックコントロール

Logic Pro では、トラックにプラグインをインストールしなくても、基本的な機能(ボリューム、パン、ソロ/ミュート、SEND)をコントロールできます。

このタイプのトラックは「リミテッドトラック」と呼ばれます。



「リミテッドトラック」は、右上隅の「DAW CONTROL」というテキスト、緑色の表示、およびオーディオ処理機能の欠如(DAW Control 以外のセクションにコントロールがない)によって示されます。

フェーダーSEND

Logic Pro にはSENDをフェーダーに配置するオプションがありますが、これは推奨されません。

代わりに、Softube ハードウェアの専用SENDコントロールを使用してください。

最大 200 トラック

Softube ハードウェアは、プロジェクト内で同時に 200 トラックまでしかコントロールできません。プロジェクトに 200 トラック以上を含めることは可能ですが、「Favorites」、「Copy」、「Group」などの一

部の機能は、隣接する 200トラック内でのみ動作します。Logic Pro ミキサーからグループ内のトラックを選択することで、Console 1 でコントロール可能な 200トラックのグループを切り替えることができます。

Console 1 のソロ/ミュートに関する注意

Console 1 の内部ソロ、ミュート、ソロセーフ機能を使用しているプロジェクトがある場合、Logic Pro 用 DAW Control を使用する前に、保存済みのプロジェクトでソロ、ミュート、ソロセーフをすべてオフにする必要があります。

内部のソロ、ミュート、ソロセーフをすべてオフにするには：

1. オンスクリーンディスプレイ(OSD)の「Settings」(Shift + トラックセクター 20)を開きます。
2. 「Turn off all internal Solo and Mute」をクリックします。

さらに詳しい手順が必要な場合は、コンソール 1 の DAW コントロールをオフにし、ソロ、ミュート、ソロセーフを手動でオフにします。

1. DAW コントロールをオフにします : Shift + トラックセクター 20、DAW Feature Setting、DAW コントロールのオン/オフ。DAW と OSD の再起動が必要です。
2. プロジェクトを再度開き、コンソール 1 内のすべてのソロとミュートをオフにし、DAW のソロとミュートに置き換えます。

Logic Pro 用 DAW コントロールを使用している場合、コンソール 1 のソロとミュートボタンは Logic Pro のソロとミュート機能をコントロールするために使用され、DAW コントロールがオンになっている状態ではコンソール 1 の内部ソロとミュート機能を切り替えることはできません。

Cubase/Nuendo 向け DAW ダイレクトコントロール

Cubase 13.0.51 または 14.0.10 以降、および Nuendo 13.0.51 以降は、Steinberg の MIDI Remote API を介した DAW Control に対応しています。

これにより、プラグインを含むトラックだけでなく、プラグインを含まないトラック(「リミテッドトラック」)についても、トラックボリューム、パン、センド、ソロ、ミュートにアクセスできます。

MIDI Remote API では、これまで利用できなかった VCAトラックのコントロールも可能です。

プラグインを含むトラック、または特定のトラックのみを表示したい場合は、トラックをお気に入りとしてマークし、Shift キーを押しながらお気に入りキーを押すと、それらのトラックのみが表示されません。

インストール

インストールは自動で行われ、必要なファイルは起動時に Cubase/Nuendo にコピーされます。

Cubase/Nuendo は自動的にユニットに接続します。

問題が発生した場合は、Softube ハードウェアユニットをコンピューターから切断/接続し、MIDI Remote スクリプトを再読み込みしてください。

- ・スタジオ > MIDI Remote Manager を開きます。
- ・MIDI コントローラーに少なくとも 1 つの Softube ハードウェアユニットがリストされていることを確認してください。
- ・右上隅の「再読み込み」ボタンを押します。

リミテッドトラック：プラグインなしでのトラックコントロール

Steinberg MIDI Remote を使用すると、トラックにプラグインをインストールしなくても、基本的な機能(ボリューム、パン、ソロ/ミュート、 SEND)をコントロールできます。

このタイプのトラックは「リミテッドトラック」と呼ばれます。

Pro Tools の DAW Direct コントロール

Pro Tools Scripting SDK と Pro Tools HUI という 2 つの異なるテクノロジーを使用することで、Pro Tools 2024.6 以降では、プラグインを使用していないトラックも含め、すべてのトラックをコントロールできるようになりました。

Pro Tools Scripting SDK では、以下の機能が利用できます。

- ・トラック名
- ・トラックの色
- ・トラック番号
- ・ソロとミュート
- ・トラック選択

Flow Studio では、これが Pro Tools で利用可能な DAW コントロールです。以下のセクションでは、Pro Tools の Console 1 の使用について説明します。

Pro Tools HUI モードでは、以下の機能が利用できます。

- ・フェーダーボリューム
- ・SEND
- ・ソロとミュート

Pro Tools HUI を Pro Tools Scripting SDK および Console 1 のインスタンス (少なくとも 1 つ) と組み合わせて使用すると、HUI はトラック名、トラックカラー、トラック番号などの機能が向上します。

ステップ 1:「Scripting SDK」(Flow Studio および Console 1)

「Scripting SDK」(別名 Pro Tools PTSCl)を使用すると、Softube ハードウェアはすべてのトラックに関する情報を取得できるだけでなく、トラック選択、ソロ、ミュートをコントロールできます。つまり、プラグインの有無に関わらず、プロジェクト内のすべてのトラックを表示できます。また、すべてのトラックにプラグインがなくても、ソロ/ミュートを適切にコントロールできます。

トラック選択も Pro Tools PTSCl の大きな利点の 1 つです。トラック選択が Softube ハードウェアと Pro Tools 間で同期されます。

インストール: インストールは自動で行われますが、Scripting SDK を起動するには、プロジェクトにハードウェア対応プラグインが少なくとも 1 つ必要です。また、Softube ハードウェア製品の設定で「DAW Control」がオンになっていることを確認してください。PTSCl が正常に動作していることを確認するには(コンソール 1 を例にとると)、[設定] > [コンソール 1 について] に移動し、一番下に「Pro Tools PTSCl を使用」が表示されるまでスクロールしてください。

ステップ 2:「Pro Tools HUI」(コンソール 1 のみ)

Pro Tools HUI を使用すると、コンソール 1 の Fader Mk III でトラックのボリュームとセンドレベルをハードウェアから直接コントロールできます。PTSCl からのトラック選択と組み合わせることで、EQ、コンプレッサーなどをコントロールするコンソール 1 Channel Mk III と、トラックレベルをコントロールするコンソール 1 Fader Mk III の間でシームレスな操作が可能になります。

この機能を使用するには、コンソール 1 Fader Mk III を「Pro Tools HUI」モードにする必要があります。

Pro Tools HUI の設定方法については、「Pro Tools HUI」の章を参照してください。

Bitwig Studio の DAW ダイレクトコントロール

Bitwig Studio 6 で DAW ダイレクトコントロールが利用可能になりました。これにより、プラグインを使用せずに、ボリューム、パン、ソロ/ミュート、トラック選択、センドをコントロールできます。

インストール

・Bitwig Studio 6 の最新バージョンがインストールされていることを確認してください。

- Bitwig Studio を起動し、「Settings」を開きます。
 - 「Controllers 」に移動し、「Add Controlle」をクリックします。
 - 「Hardware Vendor」ドロップダウンメニューから「Softube」を選択し、適切な製品を選択します（表示される製品名は、お使いの製品と一致しない場合があります。どの製品を選択しても問題ありません）。
 - コントローラーの設定で、末尾が「DAW」の MIDI 入出力ポートを選択します（お使いのデバイスには 2 つの MIDI ポートがあります。必ず「DAW」サフィックスが付いているポートを選択してください）。
- 「Settings」を閉じます。